

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会・期末配当:3月31日
中間配当:9月30日
公告方法 電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
(1) 証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
(2) 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
三井住友信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) にお申し出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

WEB INFORMATION

ホームページのご案内

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.adeka.co.jp>



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4401

いいかぶ 検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

株式会社 ADEKA

〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号
TEL. 03-4455-2801

151 Interim

第151期 中間決算のご報告

2012年4月1日~2012年9月30日

CONTENTS

連結財務ハイライト
株主の皆様へ
報告セグメント別概況
中間連結財務諸表
会社の概要・株式の状況
ADEKAグループ CSRへの取り組み

BUSINESS REPORT



株式会社 ADEKA
(証券コード 4401)

シカゴの都市とミシガン湖
ADEKAグループは2012年5月、シカゴ郊外ハモンドにAM STABILIZERS CORPORATIONを設立し、樹脂添加剤事業のさらなる強化を図りました。



To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第151期中間期(2012年4月1日から2012年9月30日まで)の事業概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長
郡 昭夫

代表取締役会長
櫻井邦彦

世界経済は、長期化する欧州債務問題や、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化などにより、景気の減速感が強まりました。国内では復興関連需要などを背景に緩やかに回復してきましたが、長引く円高や海外景気減速の波及懸念などを背景に、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、米国での塩化ビニル樹脂用の安定剤事業の買収や自動車関連分野などで需要拡大の見込めるブラジルでの販売会社設立など、将来の成長に向けた投資を戦略的に推し進めてまいりました。また、6月には樹脂添加剤事業のグローバルテクニカルセンターの役割を担う新研究棟を完成させ、市場競争力の高い製品などを迅速に研究開発できる体制を構築しました。

当中間期の連結業績につきましては、売上高は884億61百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は47億14百万円(同8.7%増)、経常利益は44億78百万円(同11.4%増)となりました。中間純利益は、投資有価証券評価損などの特別損失の計上により24億6百万円(同22.0%増)となりました。

当中間期の配当金につきましては、1株につき11円(前年同期11円)とさせていただきます。なお、年間配当金につきましては、中間配当金と合わせて1株につき22円(前期22円)とする予定です。

当社グループは、創立100周年にあたる2016年度のありたい姿として「売上高3,000億円のグッドカンパニーを目指す」という経営ビジョンを掲げ、それに向けた中期経営計画「STEP 3000」を今年度からスタートさせました。今後も大いなる飛躍に向けてグループ一丸となって、事業領域の拡大と強化を推進してまいります。

最後になりましたが、当社グループの業容拡大に伴い多岐にわたる経営課題に対処していくため、本年6月22日から代表権を取締役会長、取締役社長の2名で担う新たな経営体制をスタートさせました。社会の一員として、ステークホルダー皆様の期待に応え、社会とともに発展してゆく企業グループを目指し、本業を通じた社会貢献を基本方針としたCSR経営に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月

報告セグメント別概況



化学品事業

当事業の売上高は、602億8百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は38億18百万円(同15.3%減)となりました。

【情報・電子化学品】

半導体材料は、最先端の半導体メモリに使われる高誘電材料を中心に販売数量は大きく伸長しましたが、激しい価格競争の影響を受け販売価格が低下しました。フラットパネルディスプレイに使用される各種材料は、液晶パネルの需要低迷の影響を受け低い水準となりました。光学フィルムやフォトレジストに使用される感光性材料及び高集積回路向けのエッチング薬剤など競争力の高い独自製品はスマートフォンなどの需要拡大を背景に伸長しました。

情報・電子化学品全体では、前年同期に比べ増収減益となりました。

【機能化学品】

樹脂添加剤は、自動車生産の拡大などを背景に海外を中心に高機能製品の光安定剤などは伸長しましたが、家電などに使用される難燃剤などは生産調整の影響を受けました。界面活性剤は、海外を中心に化粧品材料が伸長しました。潤滑剤は、自動車生産の拡大及び海外を中心とした新規顧客の開拓により回復しました。機能性樹脂は、環境対応の水系樹脂が自動車向けに堅調だったものの、総じて低い水準となりました。

機能化学品全体では、前年同期に比べわずかながら増収でしたが減益となりました。

【基礎化学品】

プロピレングリコール類などは需要が減少し低い水準となりました。過酸化水素及びその誘導品は、震災の影響で落ち込んだ販売数量は前年同期に比べ増加しましたが、紙パルプなどの市況低迷の影響を受け震災以前の水準には至りませんでした。

基礎化学品全体では、原材料価格上昇の影響も受けたことから、前年同期に比べ減収となり、わずかながら営業損失となりました。



食品事業

当事業の売上高は、257億6百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益は5億94百万円(同10億77百万円増)となりました。

消費者の食に対する低価格志向が強まるなか、業務用マーガリンなどの加工油脂やホイップクリームなどの加工食品は、顧客ニーズを捉えたバター風味豊かなマーガリンや、新製品のホイップクリームなど特徴ある製品を中心に伸長し、震災の影響を大きく受けた前年同期に比べ増収増益となりました。

通期の見通し

通期連結業績及び年間配当金につきましては、当中間期の業績を踏まえ、次のとおり見込んでおります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	年間配当金
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
2013年3月期(見通し)	180,000	10,000	10,000	5,700	22
2012年3月期	170,817	8,342	8,628	3,797	22
増減率	5.4%	19.9%	15.9%	50.1%	

中間連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期末 (2012.9.30現在)	前年度末 (2012.3.31現在)	前年度末比増減
(資産の部)			
① 流動資産	113,802	110,009	3,793
固定資産	101,799	100,757	1,042
② 有形固定資産	70,785	68,582	2,203
無形固定資産	3,611	3,237	373
③ 投資その他の資産	27,401	28,937	△1,535
資産合計	215,602	210,766	4,835
(負債の部)			
④ 流動負債	57,084	60,820	△3,736
⑤ 固定負債	28,548	21,345	7,202
負債合計	85,632	82,166	3,466
(純資産の部)			
株主資本	124,094	122,826	1,268
資本金	22,899	22,899	-
資本剰余金	19,925	19,925	-
利益剰余金	81,494	80,225	1,268
自己株式	△224	△224	△0
その他の包括利益累計額	2,173	2,422	△249
その他有価証券評価差額金	479	984	△505
土地再評価差額金	3,791	3,791	-
為替換算調整勘定	△2,097	△2,353	256
少数株主持分	3,701	3,351	350
純資産合計	129,969	128,600	1,368
負債及び純資産合計	215,602	210,766	4,835

(注)1. 有形固定資産の減価償却累計額 133,425百万円
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

- 流動資産の増加
現金及び預金の増加
たな卸資産の増加
が主な要因です。
1,381百万円
1,749百万円
- 有形固定資産の増加
建物及び構築物の増加
が主な要因です。
1,790百万円
- 投資その他の資産の減少
投資有価証券の減少
が主な要因です。
1,955百万円
- 流動負債の減少
1年内返済予定の長期借入金の減少
が主な要因です。
4,869百万円

■ 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2012.4.1~ 2012.9.30)	前中間期 (2011.4.1~ 2011.9.30)	前期比増減
売上高	88,461	85,485	2,976
⑥ 営業利益	4,714	4,337	377
⑥ 経常利益	4,478	4,020	458
税金等調整前中間純利益	3,768	3,066	701
中間純利益	2,406	1,972	433

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2012.4.1~2012.9.30)	前中間期 (2011.4.1~2011.9.30)
営業活動による キャッシュ・フロー	6,572	1,108
⑦ 投資活動による キャッシュ・フロー	△7,196	△1,103
財務活動による キャッシュ・フロー	1,914	1,012
現金及び現金同等物に 係る換算差額	55	△29
現金及び現金同等物の 増減額	1,345	988
現金及び現金同等物期首 残高	25,755	23,555
現金及び現金同等物 中間期末残高	27,100	24,544

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

- 固定負債の増加
長期借入金の増加
が主な要因です。
7,029百万円
- 売上高営業利益率
売上高経常利益率
5.3%(前中間期 5.1%)
5.1%(前中間期 4.7%)
- 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳
有形固定資産の取得による支出
△5,068百万円
フリー・キャッシュ・フロー
△624百万円(前中間期 5百万円)
※営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動による
キャッシュ・フローを差し引いた金額

会社の概要・株式の状況 (2012年9月30日現在)

会社の概要

設立	1917年1月27日
資本金	22,899,673,072円
従業員数	1,548名

役員

代表取締役会長	櫻井 邦彦
代表取締役社長	郡 昭夫
取締役 常務執行役員	世良田 博史
取締役 常務執行役員	森尾 和彦
取締役 常務執行役員	飯尾 卓美
取締役 常務執行役員	百瀬 昭
取締役 執行役員	富安 治彦
取締役 執行役員	辻本 光
取締役 執行役員	北條 修司
取締役(社外)	永井 和之
常勤監査役	木内 慎一
常勤監査役	柴田 良平
監査役(社外)	奥山 章雄
監査役(社外)	竹村 葉子
監査役(社外)	佐藤 美樹

執行役員 (取締役兼務者を除く)

上席執行役員	板垣 和雄
執行役員	矢島 明政
執行役員	北森 一孝
執行役員	幸野 俊則
執行役員	荒田 亮三
執行役員	林 義人
執行役員	古川 豊
執行役員	飛田 悦男

連結子会社

ADEKAケミカルサプライ(株)
ADEKAグリーンエイド(株)
ADEKAファインフーズ(株)
ADEKA総合設備(株)
AMFINE CHEMICAL CORP. [米国]
ADEKA (SINGAPORE) PTE. LTD.
オキシラン化学(株)
ADEKA食品販売(株)
ADEKA物流(株)
長江化学股份有限公司 [台湾]
(株) ヨンゴ
ADEKA KOREA CORP.
ADEKA (ASIA) PTE. LTD. [シンガポール]
ADEKA Europe GmbH [ドイツ]
台湾艾迪科精密化学股份有限公司
ADEKA PALMAROLE SAS [フランス]
ADEKAライフクリエイト(株)
艾迪科(上海)貿易有限公司 [中国]
艾迪科精細化工(上海)有限公司 [中国]
艾迪科精細化工(常熟)有限公司 [中国]
上原食品工業(株)
ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.
艾迪科食品(常熟)有限公司 [中国]
AM STABILIZERS CORP. [米国]

(注) 当中間期から、AM STABILIZERS CORP.を連結の範囲に含めております。

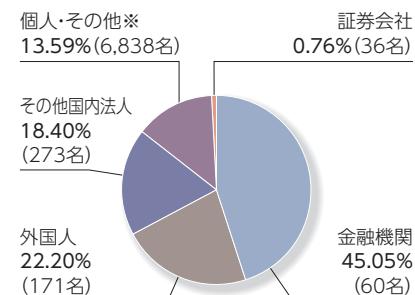
持分法適用関連会社

日本農業(株)
鹿島ケミカル(株)
(株) コープクリーン

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式総数	103,651,442株
当中間期末株主数	7,378名 (前期末比379名増)

所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

大株主(上位10名)

順位	株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
1	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,860	6.63
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,909	4.74
3	朝日生命保険相互会社	4,769	4.61
4	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	3,581	3.46
5	全国共済農業協同組合連合会	2,687	2.60
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,517	2.43
7	ADEKA取引先持株会	2,372	2.29
8	農林中央金庫	2,244	2.17
9	ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	2,039	1.97
10	東京海上日動火災保険株式会社	1,801	1.74

(注) 当社は自己株式172,333株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

ADEKAグループ CSRへの取り組み

1917年の創業以来、ADEKAグループは健康で豊かな社会の実現にむけて事業活動を続けてまいりました。ADEKAグループの2011年度CSR活動をまとめた「ADEKAグループ CSRレポート2012」を発行しましたので、ご紹介いたします。

本レポートには、当社95年の歴史的な出来事をまとめた「ADEKAの95年」や、2012年4月からスタートした中期経営計画「STEP 3000」の概要などを掲載し、本レポートにより、ADEKAグループが歩んできた「これまで」と、「これから」がわかる内容となっています。



CSRレポート2012のポイント

特集 樹脂添加剤事業の取り組み事例

コア事業の一つに位置付けている「樹脂添加剤事業」の取り組み事例を紹介。樹脂添加剤の歴史・概要をはじめ、24の戦略製品の一つである「イントメッセント系難燃剤」を取り上げて、環境の保全と人々の命を守るための製品開発など、本業を通じて社会に貢献するADEKAグループの企業活動を紹介しています。

中期経営計画「STEP 3000」

2012年4月からスタートした中期経営計画の概念図をまじえて、経営と一体となったCSRの取り組みを説明しています。100周年を迎える2016年度に、「グッドカンパニー」として「売上高3,000億円」を実現するための目標・方針を紹介しています。

東日本大震災後の取り組み

昨年の東日本大震災により、ADEKAグループは、素材メーカーとしてお客様に対する供給責任を果たすことが最重要課題であるということを確認しました。この震災の教訓を踏まえ、大きな災害が発生したときも、製品供給のネットワークが途切れることがないように、事業継続マネジメントシステム(BCMS)やサプライチェーンの確保等を含む危機管理体制強化の取り組みを紹介しています。

CSRレポートは当社ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.adeka.co.jp/csr/index.html>